

平成27年度 校長だより

立志の教育



～志を胸に、頑張る中学生～
与那原町立与那原中学校
発行者 校長 淵田 立身

充実の立志ウィーク

大切なことを学んだ1週間

～父母の苦労も知る職場体験学習～



〈1年生のアイマスクを付け階段を降りる体験〉

1年 福祉の学習

1年1組 荷川取 匠海くん

今自分には障がいがなく、生活を送っています。自分にとっては、不便じゃないことも障がいのある人にとっては、とても大変なところがあると初めて知りました。福祉体験をしてみて、「本当にこんなに体が重くなるのかなあ」「何も見えなくて、怖くないのかなあ」といろいろと不思議に思うところがありました。障がい者は、とても大変なところがたくさんあると改めて感じました。今、社会は便利な方へ向かっているけど、それは障がいをもっていない人達が便利だと思っているだけで、障がいをもっている人にたいしては、何も便利になっていないと思います。障がいを持っている人のことももっともっと考えて今からの社会をつくっていかたいのになあと思いました。これからは障がい者に会ったら、どうしたら楽になるかなあ、手伝おうかなあという気持ちでいきたいと思いました。



障がいをもつ人のことを考えて社会をつくる。



2年 職場体験学習



〈緊張の中でも注文の確認をする。西原ビッグハート〉
2年5組 佐久田 優輝くん

3日間の職場体験学習がありました。僕が行った職場は、西原にあるステーキハウスビッグハートです。まず朝は、10時30分に出勤します。そしてお昼になると人がたくさん来て、おしぼりやメニューを出したりします。そしてやっと終わったかと思うと次は、皿洗いをしました。家でやるのに比べると、お皿の数が多くて大変でした。1日目は慣れない仕事で家に帰るとグッタリでした。そして2日目は朝は普通に出勤して店の手伝いをしているとなんと、校長先生と座間味先生が来ました。その後も2年の先生方がいらっしゃってとても緊張して仕事どころではありませんでした。でも先生方が帰ると今までの緊張感がなくなり一気に疲れました。3日目は、仕事もだんだん慣れて楽になってきました。なので時間が流れるのが速く感じられました。そして、仕事の終わりにステーキを食べさせてもらいました。3日間の仕事を通してみると、とても楽しく、やりがいがありました。そしてやっとお父さんやお母さんの大変さが分かりました。なので将来、立派な仕事について恩返しをしてあげたいです。

3年 九州への修学旅行



〈楽しい仲間との夕食、笑顔でポーズを決める3年生〉
3年2組 平良 なぎささん

私たち3年生は、4日間の修学旅行でたくさんの場所に行きました。熊本城で歴史を学び、グ

リーランドでたくさん、遊びました。私はたくさんジェットコースターに乗ったことが一番の思い出です。バスの中ではガイドさんがいろいろな説明をしてくれました。先生方や添乗員さん、ガイドさんのおかげで楽しく安全に修学旅行を楽しむことができました。中学校最後の楽しい思い出をつくることができ本当に良かったと思います。

島尻地区PTA 研究大会

おめでとうございます。

秀島徳保さん、金城めぐみさん

島尻地区 PTA 連合会会長賞受賞！



〈受賞後、笑顔の秀島さん、金城さん〉

22日(日)糸満南小学校で島尻地区PTA研究大会が開催されました。本校のPTA活動を長年にわたり支えてくださいました秀島徳保さん、金城めぐみさんがその活動を高く評価され表彰されました。いつも学校を支えていただいていることに深く感謝いたします。

華麗なリズムなぎなた披露!



島尻地区中学校総合文化祭

20日(金)南城市佐敷のシュガーホールで開催された島尻地区中学校総合文化祭で、本校なぎなた部が華麗なリズムなぎなたを披露し聴衆を感動させました。与那原中学校の伝統ともなりつつあるなぎなた、いつもとは違う「魅力」を発信できました。部員のみなさん、お疲れ様でした。

**11月 授業力アップ、先生の
1人1公開授業 全員終了!**

㊸知花 綾子先生 1年5組で国語

㊹古堅さとみ先生 2年3組で家庭



〈今日のめあてを説明する綾子先生〉

18日(水)3校時、知花 綾子先生が1年5組で国語の授業を行いました。綾子先生の授業は、「故事成語を使って、身近な出来事を短い文章で書く」ことが目標でした。「一石二鳥」など、日常生活で何気なく使っている故事成語をさらに学習して、使っていくために自分の好きな故事成語を選び、文章を考えました。家や学校での生活の中で、故事成語をうまく使い場面をうまく説明すること、簡単そうで意外と難しいことも分かりました。それでも5組のみなさんは、グループで考えたり真剣に学習に臨んでいました。これから故事成語を使い、表現を豊かにできたらいいですね。



〈自分に合う色を試していく楽しい学習〉

19日(木)3校時、古堅 さとみ先生が2年3組で家庭の授業を行いました。さとみ先生の授業は、「自分らしく着よう」ということが目標でした。さとみ先生は、たくさんの色のフェルトを準備して、クラス全員がそれぞれの色を体にあて、その色が合うのか確認したり、友達に意見を聞くなどして楽しく授業を進めていました。最後に、自分の考えをまとめ発表、そして友達にチャレンジしてほしい色も意見として伝えることができました。今、衣料品店には、たくさんのデザイン、色の服が販売されていますが、授業で自分に合う色などを勉強することができること、すばらしいですね。校長先生が中学生の頃、このような授業はなかったと思います。カッコいい着こなしに挑戦を...